

CSR報告書

対象期間：平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

対象施設

株式会社増洲商店 事業本部：東京都板橋区高島平7-4-3-2階

三園リサイクルセンター：東京都板橋区三園2-4-6

主な事業活動

・一般廃棄物収集運搬業・産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物中間処分業



増洲商店のCSRとは、従業員とその家族、お客様や地域の方々と「不要なもの（廃棄物）」を通じて「大切なもの（環境）」を学ぶことです。

代表取締役 増洲 千人



・すべてはお客様と地域の方々のために

2011年に代表取締役役に就任して以来、「すべてはお客様と地域の方々のために」という創業者の意思を受け継ぎ邁進してまいりましたが、当社は2019年8月に創業50年という節目を迎えたこともあり、環境問題に直結する廃棄物処理という事業を更に価値のあるものに変えるべく取り組んでまいります。当社の事業は不要なものを片付ける廃棄物処理という事業ではありますが、人々が生活するうえで必要不可欠な衣食住と並んだライフラインでもあり、公衆衛生の向上と生活環境を保全するために、非常に重要な事業であると認識しています。それだけに、リサイクル技術の向上だけでなく、「廃棄物を捨てること」の重要性をより社会に認識して頂くためにも様々な活動を起こしてまいります。また、人々の生活を守るための事業として「品質向上」をオープンイノベーションとして業界

団体を通じて取り組んでまいります。

・社会に誇れる事業であるために

「人手不足」が深刻な廃棄物処理業界ではありますが、社会のインフラでもある廃棄物処理は、絶対なくてはならない事業であるため、更にこの事業が社会的評価を受けなければなりません。その他にも、まずは当社の従業員とその家族が「胸を張れる仕事」とするべく、個々のスキルを向上して頂き、価値のあるサービスの提供を行い、お客様と地域の方々に感動して頂ける企業価値を作ることが最大の目標と考えています。

・持続可能な社会の実現のために

2015年に国連で採択された「SDGs（持続可能な開発目標）」にもあるように、今や全世界で人権や環境問題が大きな課題となり、その解決に向けて世界が取り組み始めています。当社は企業のサプライチェーンでもあるため、誠実にECS（社会・環境・ガバナンス）に取り組み、SDGs達成のために貢献してまいります。そして、今後も経営理念・経営方針に基づいた経営と取組みを邁進し、すべてのステークホルダーの皆さまから信頼される企業として、持続可能な社会実現のために取り組んでまいります。

三園リサイクルセンターの活用について

弊社は、これまで年始の清掃工場が休場している間に収集した一般廃棄物を保管積替え施設である三園リサイクルセンターにおいて、回収した廃棄物を塵芥車から降ろし、施設内に積み上げて保管積置きし、清掃工場の稼働日に搬入を行ってまいりました。しかし、本年より民間処理施設（シンシア）へ直接搬入することによって、これらの作業を取り止め、環境リスクを低減させることが可能になりました。

株式会社シンシア搬入量

2020年1月1日 12,630kg（搬入台数 5台）

2020年1月2日 13,200kg（搬入台数 5台）



環境配慮型経営に関する状況

- ・一般廃棄物収集運搬車両…20台
(内訳) 平成12年基準適合車 5台
平成27年燃費基準達成車 15台
- ・産業廃棄物収集運搬車…14台
(内訳) 平成20年基準適合車 3台
平成22年基準燃費達成車 1台
平成27年基準燃費達成車 10台
- ・営業車（乗用車）…2台

・発泡スチロール減容機
所要動力…13.13kW
処理能力…50kg/h

◎平成12年基準適合車5台につきましては、新たに購入する車両と順次、入れ替えを実行して参ります。

マテリアルバランス

インプット	→ (年間使用量)	事業活動	→ (年間運搬量 kg)	アウトプット (kg-*)			
				CO2	CH4	N2O	HFC
軽油 (ℓ)	319,554	収集運搬	(一般廃棄物) 10,772,520	824,448.91	4.79	4.474	3,195.54
CNG (ℓ)	11,829	収集運搬	(産業廃棄物) 1,367,707	26,377.71	4.33	0.151	118.29
ガソリン (ℓ)	2,530	収集運搬及び営業活動	(リサイクル) 9,584,015	5,870.48	0.03	0.073	25.30
電気 (KW)	52,146	中間処分	(中間処分量) 85,840	25,603.44	0.00	0.000	0.00
都市ガス (m3)	75	施設維持		162.00	0.01	0.000	0.00
水道 (m3)	1,614	設備維持 (主に洗車)		-	-	-	-

環境配慮型経営への取り組み (SDGs)

・エコドライブの取り組み

弊社は、安全運転及び省エネ運転を奨励しています。具体的には、「エコドライブ10のポイント」として、ゆっくり発進、加減速を少なくし、早めのアクセルオフや、エアコン使用を控えたり、アイドリングストップ等、効果的な10項目のポイントを掲げて、これらを定期的に確認することでドライバーの実践を推進しています。

・勤務時間短縮に向けた取り組み

働き方改革が求められている現代において、物流業界ではなかなか進まない勤務時間の短縮に積極的に取り組んでいます。業務内容や使用機材の見直し、回収コースの効率化を図ること等で現状の勤務時間から60分程度の短縮を目標に改革を推進しています。

・従業員の健康を守るための取り組み、その他社会貢献など

緊急事態宣言下では、弊社でも事務方従業員は在宅勤務を取り入れたり、ドライバーについても休暇の人数を増やしたりと可能な限り人との接触を避けることに努めました。また、マスクやゴーグル等を配布し、消毒薬剤の常置や検温による感染防止対策を実施しています。

弊社のドライバーについては「救急救命講習」を受講させ、万が一の現場ではAEDを扱って人命救助できる人材を育成しています。

環境配慮型経営の経済・社会的側面に関する状況

・リサイクルの動向

【古紙】古紙類の買取価格は、平成31年1月（12円/kg）と比較すると半値以下になっています。既に一部の買取業者は、回収を無償、若しくは有償で引き取り始めました。この状態が更に悪化した場合、古紙類はリサイクルされず、可燃物として処分されてしまう可能性があります。そのため、古紙価格の動向には注視が必要です。

【食品リサイクル】豚コレラの発生により、食品残渣等を畜産飼料としていた食品リサイクル工場が感染防止を理由に受け入れを中止しました。そのため、食品リサイクルについて他の受け入れ先に変更いたしました。

・COVID19（新型コロナウイルス）について

全世界に広がり、日本でも緊急事態宣言を発するに至りました。廃棄物の収集運搬において、使い捨てマスクや使用後のティッシュペーパー等の廃棄物は、感染リスクが高いものと言わざるを得ません。また、お取引先には病院や介護施設等も多数あります。弊社ではいち早く感染防止対策を講じ、内外に発信して参りました。この取り組みは、環境新聞（令和2年5月20日発刊）にも掲載されています。

・その他

ISO14001更新審査 予定日：令和2年7月7日

